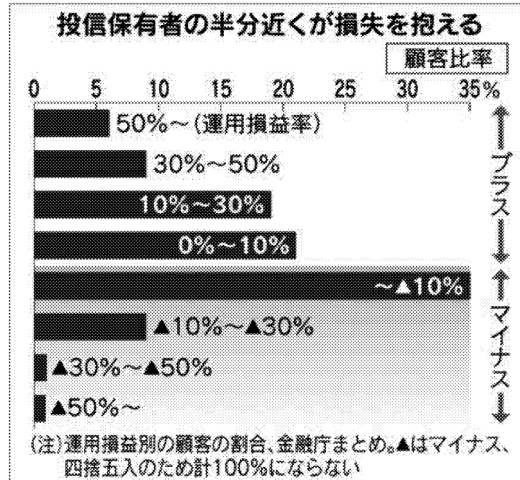


ATTENTION

投信を持っている人の半数は損失を抱えている！



(出典：日経)

金融庁は、都銀や地銀29行で投信を購入した顧客の46%が2018年3月時点で損失を抱えているというあっと驚くデータを発表しました。そのなかで、6割以上の顧客が損失を抱えている銀行は10行、1行は7割以上の顧客が損失だったとのこと。この状況は、リーマンショック来堅調を続ける世界の株式市場や円安傾向からは考えられないことです。高い手数料の投信や投信の短期売買により、手数料を銀行に持っていかれるばかりで、顧客の手元には残らない構図を浮き立たせています。金融庁幹部が「金融機関のトップは手数料収入の多寡は気にしても、顧客が儲けられているかは見向きもしない」といっているのは、まったくその通りです。「顧客本位の業務運営」を金融庁に促されて掲げていますが、仏に魂入らず、掛け声倒れ。フローの手数料が収入源(日銭稼ぎ)の金融機関が姿勢を正すのを待つのは「100年河清を待つ」に等しいです。われわれ自身がだまされないように賢くならなければ、お金を増やすのは不可能です。私も、びとふファイナンシャルサービスは、顧客がこんな目にあわないように、真の「顧客本位の業務運営」を実践しています。

OPINION

損失限定型投信は、上がらない投信

損失が限定される投信として、昨年7月に設定され、現在2300億円もの資金を集めている投信が、アムンディが運用する愛称「あんしんスイッチ」です。この投信は設定時の10000円の基準価格に対して、基準価格が9000円まで下がると繰り上げ償還になり、損失はそこまでに限定されるというものです。しかし、このうたい文句にだまされてはいけません。損失が限定されても、この投信には上がらない要因がたくさん入っています。組入れ資産内容に比べ1.44%と高い信託報酬(この中には親会社が受け取る保証料0.22%も含まれる)、見えない為替ヘッジコスト(おそらく仏の親会社の収入)、組入れられるETFのほとんどが、他のETFに比べて高いコストのアムンディETF。信託報酬だけでなく、見えにくいコストが重くのかかり、運用の足を引っ張ります。株式の組入れ比率は現在16%程度とかなり低く、債券の比率が52%、現金比率が32%と過度に保守的な配分になっています。その結果債券の下落や高いコストを株式の上昇で補いきれず、設定来の1年では-0.7%。配当金も出していません。

また委託会社(運用会社)の取り分0.45%より販売会社の取り分が0.65%と大きくなっていることは注目に値します。販売会社に販売インセンティブを与えている形です。このような投信は、売らんがための投信といってよいでしょう。「損失は限定され、安心です」というセールス文句で買わせるわけです。いつまでたっても上がらないばかりか、高いコストでジリ貧となり、数年すると9000円で本当に繰り上げ償還となりかねません。MMFにしておくほうがよほどましです。

MARKET

	(7月末)	(6月末比)
日経平均	22,553.72円	+249.21円 (+1.1%)
NYダウ	25,415.19ドル	+1,143.78ドル (+4.7%)
米ドル	111.90円	+1.20円 (+1.1%)

今月の言葉：

理性の導きに従って生活する人は、できるだけ、自分に対する他人の憎しみ、怒り、軽蔑などを、逆に愛あるいは寛仁で報いるように努める。

スピノザ『エチカ』

弊社のメルマガ、ニュースレター情報のその後の経過が面白い！

私は、月2回のメールマガジン、月1回のニュースレターをお送りしていますが、その後の経過がすごく面白いのでここでそのいくつかを紹介しましょう。

まずは2017年4月号ニュースレター

「個人の不動産投資はいつか来た道をたどる」。

<http://www.bfsc.jp/wordpress/wp-content/uploads/2017/04/no96-bfs-news-letter.pdf>

その中で、私はこう書いています。

年収500万円のご普通のサラリーマンが、貯金なしで1億円借り入れ、何件もの賃貸物件のマンションを購入したという場面が放送されていました。・・・特段1億円借り入れているのが恐ろしいものなどという意識は全く感じませんでした。世代が変わると「またいつか来た道をたどる」ということでしょうか。・・・それにしても、金融機関の責任は大きいです。

その後の経過は、女性シェアハウス「かぼちゃの馬車」が突然破綻し、預金がロクにないサラリーマンが億単位でスルガ銀行から融資を受け、その借入の返済に窮し、自己破産の淵に立たされているというものです。まさにシンデレラの馬車が「かぼちゃの馬車」になってしまったという顛末です。

次は2013年11月号ニュースレター

「官が民に関与しすぎる大きな弊害に目を向けよう」

http://www.bfsc.jp/wordpress/wp-content/uploads/2014/01/bfsnewsletter_no55.pdf

その中でこう書いています。

相次ぐ官製ファンド立ち上げ。国に目利きができるのか。国民の税金が無駄になるリスクは大きいです。・・・農水省、財務省、経産省、内閣府、文科省、国交省・環境省。お金の

出し元の財務省が自ら作るんですから「だったら、うちも」と歯止めが利かなくなるのは明らかです。そして役人の天下り先になるのは、いつか来た道が見えてきます。

その後の経過は、今年6月21日の日経新聞掲載の通り、「官民ファンド再編検討」です。現在14ある官民ファンドは、全体の4割にあたる6つが赤字。今後は「官民ファンドの連携や統合により収益構造の改善を図る」ということですが、そんな機関は最初から作らなければよかったのです。竹の子のように乱立させて、6年経ち、今ではお荷物。時間は無駄にするし、国民の税金は役人の人件費に回っているようなものです。組織は既得権益となり存続し、いわば焼け太りの典型で、即刻なくすべきです。

最後は、2018年3月26日メールマガジン

編集後記：山手線車内でメガバンクの「スマホで簡単、カードローン！」という広告が目に入りました。・・・最近では金融庁の過剰広告への指導がありTV広告が減ったと思っていたら、今度は電車内です。メガバンクは、安易な商売はやめて、真に国民に役立つサービスを真剣に考えるべきです。いずれ自分たちの存立にも関わってきます。

その後の経過は、下記6月21日の日経記事の顛末です。

「カードローンはメガバンクの火種。過去の融資が焦げ付き」カードローンは業績を下支えしてきたが、一転して焦げ付きが増えているとのこと。過去の轍を踏むのは止めた方がいいですね。いつまでたっても進歩しません。

SEMINAR

びとうファイナンシャルサービス代表、尾藤峰男が教える
『こうすればお金の運用で必ず成功する！セミナー』

大切なお金の運用で、本当のことを知るのは大変むずかしいです。預金金利はゼロ、国の年金だけでは足りず、金融機関も利益追求に走っていて、自分自身でしっかりお金を運用する必要がますます高まっています。

このセミナーで、他では絶対に聞けない「お金の運用で必ず成功する方法」を学びましょう。40年の投資経験と資産運用で頂点のグローバル資格を持ち、金融機関とのしがらみが全くない資産運用アドバイザー、尾藤峰男だから語れる「お金の運用で必ず成功する方法」を伝授します！6名様限定です。お早めにお申し込みください！



びとうファイナンシャルサービス
代表 尾藤 峰男

日時： 2018年8月25日(土)15:00～17:00

場所： 東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビル2F リファレンス会議室

JR有楽町駅 中央西口/日比谷口より1分

東京メトロ有楽町線有楽町駅 D2出口より連絡

東京メトロ日比谷線・千代田線日比谷駅 A6出口より3分

都営三田線日比谷駅 B1またはB2出口より3分

参加費：1,000円(当日支払い)

メールまたは電話にて「8月25日セミナー参加希望」として、ご氏名、ご年齢、ご連絡先をお知らせください。

メール： info@bfsc.jp Tel： 03-6721-8386

- どうしたら株式投資で最も成功するか
- 本当に正しいお金の運用法とは
- もっとも効率的にお金を増やす方法とは
- 国際分散投資はどうやったらいいか
- よい金融商品の選び方
- 証券会社や銀行にだまされないために
- お金に困らない老後の安心を確保するために
- NISAやiDeCo(個人型確定拠出年金)の活用法
- 安心してお金の相談をできる場所はどこか

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/>

発行者：びとうファイナンシャルサービス
代表取締役 尾藤峰男

電話：03-6721-8386
携帯：070-5567-3311

FAX: 050-3156-1072
電子メール：info@bfsc.jp